

『地域航空フォーラム／13』  
実施報告書

## 地域の活性化と空港経営改革

平成 25 年 7 月 5 日

主催：全国地域航空システム推進協議会

# 『地域航空フォーラム／13』（第15回）

主催 全国地域航空システム推進協議会

日時／ 2013年7月5日(金) 13:30～17:10 (開場 13:00)

場所／ 日本大学 経済学部 7号館 講堂 (東京都千代田区三崎町 2-8)

募集人数／ 250名 (参加無料)

## 地域の活性化と空港経営改革

### プログラム

開会挨拶 (13:30)

基調講演 ①(13:35)

- ◆「民間の能力を活用した国管理空港等の運営等に関する法律案について (仮題)」  
河田 敦弥(国土交通省航空局航空ネットワーク部 航空ネットワーク企画課 企画調整官)

基調講演 ② (14:20)

- ◆「各地の取り組みについて (仮題)」  
幕 亮二(㈱三菱総合研究所 シニアエコノミスト)

基調講演 ③ (15:05)

- ◆「空港の格付けについて (仮題)」  
吉田 真(㈱格付投資情報センター (R&I) 格付本部)

パネルディスカッション (16:00)

- ◆「地域の活性化と空港経営改革」  
コーディネーター : 加藤 一誠 (日本大学経済学部 教授)  
パネリスト : 河田 敦弥(国土交通省航空局航空ネットワーク部 航空ネットワーク企画課 企画調整官)  
50音順 : 幕 亮二(㈱三菱総合研究所 シニアエコノミスト)  
: 吉田 真(㈱格付投資情報センター (R&I) 格付本部)

閉会 (17:10)

### 会場案内図

日本大学経済学部7号館講堂  
東京都千代田区三崎町2-8

#### アクセス

- JR中央線・総武線(各駅停車)「水道橋」駅東口より徒歩3分
- 都営三田線「水道橋」駅A1・A2出口より徒歩3分
- 都営新宿線・都営三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅A4・A5出口より徒歩5分





# 目 次

I. 実施概要	1
---------	---

## II. 開催内容

□ 基調講演 1 「地域活性化に向けた空港経営改革について」	3
--------------------------------	---

河田 敦弥 国土交通省航空局航空ネットワーク部  
航空ネットワーク企画課 企画調整官

□ 基調講演 2 「地方空港の実情と各地の取り組み」	25
----------------------------	----

幕 亮二 株式会社三菱総合研究所 シニアエコノミスト

□ 基調講演 3 「空港の格付けについて」	55
-----------------------	----

吉田 真 株式会社格付投資情報センター 格付本部 チーフアナリスト

□ パネルディスカッション	
---------------	--

「地域活性化と空港経営改革」	79
----------------	----

コーディネーター

加藤 一誠 日本大学 経済学部 教授

パネリスト (50 音順)

河田 敦也 国土交通省航空局航空ネットワーク企画課 企画調整官

幕 亮二 株式会社三菱総合研究所 シニアエコノミスト

吉田 真 株式会社格付投資情報センター チーフアナリスト

## I. 実施概要

### 1. 開催趣旨

近年、地域航空の旅客数は、大手航空会社からの路線移管等により増加傾向にありましたが、平成24年度の国内総旅客数が8,597万人と前年比プラス8.7%と回復傾向の中でも、827万人、前年比プラス10.6%と大きな伸びを見せています。

また、国内総旅客数に対する地域航空の旅客数の割合は9.6%で、2割程度を占める欧米に比べるとまだ小さいが、小型機の乗り入れが少ない羽田路線を除くと、地域航空の輸送割合は26.5%を占めており、すでに地域に不可欠なネットワークを形成しているといえます。

一方、近年のリージョナルジェット機は、性能の向上により大幅に航続距離も延び、日本から東アジアをカバーできる機体も出てきており、また、大幅な低燃費を目指す国産機の開発も進んでいることから、リージョナルジェット機による国際線運航を含むより多様な路線設定が可能となってきています。

このような状況のもと、今後、日本から近距離海外や国内各都市とのビジネス、観光交流の需要に対してきめ細かく対応するために、規模に合わせた運航や多頻度化が可能な小型リージョナル機が重要な役割を果たしてゆくと思われれます。

しかし、少子高齢化はもとより、新幹線ネットワークの拡充による競争激化、高速道路の料金低減化、航空燃料の高止まり等の影響のために、地方路線や離島路線を小さい機材で運航する地域航空会社にとっては、1席あたりの運航経費が高いことから厳しい経営状況が続いています。

このような中、地域航空ネットワークのさらなる拡充に向けて、首都圏への乗り入れ、地方管理空港の助成制度の拡充、離島路線や都市間地方路線の維持対策、地域航空事業者の経営基盤強化等を課題として捉えるとともに、東日本大震災における教訓を踏まえ、空港の防災拠点としての機能を更に充実、強化していく必要があると考えます。

このような認識に立って、受け入れ側の空港について考える機会を持つこととしました。空港経営改革法案については、若干の修正のうえ、今通常国会に「民活空港運営法案」として再度提出され、衆議院を通過し参議院にて審議中であります。

昨年来、国管理空港のみならず地方管理空港についても、さまざまなレベルで経営改革に関する調査研究等が活発化しておりますが、他地域の取り組みに関する情報やこれを共有する場は少ない状況です。

全国地域航空システム推進協議会では、上記等にかかる国及び地方の情報共有の場を提供し、会員である地方公共団体等の政策形成の一助となることを目的に、本フォーラムを企画いたしました。

## 2. 開催概要

- 名 称 『地域航空フォーラム／13』（第15回）
- テ ー マ 「地域の活性化と空港経営改革」
- 日 時 平成25年7月5日(金) 13:30～17:30 （開場 13:00）
- 場 所 日本大学 経済学部 7号館 講堂  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-8
- 主 催 全国地域航空システム推進協議会
- 入 場 料 無料
- 参 加 者

区 分	人 数
国	9
自治体	31
大学・研究機関	17
航空会社	22
航空関連団体	10
空港関連会社	34
その他	16
計	139

## 3. プログラム

前掲のとおり